記者発表資料

令和4年1月24日
国土交通省　東北地方整備局
湯沢河川国道事務所

国道13号　横手北道路の計画検討に関する意見聴取を実施します
～みなさまのご意見をお聞かせください～

国道13号は福島市を起点として山形県の内陸部を縦断し、横手市、大仙市の秋田県南部の主要都市を経て秋田市に至る、延長約386kmの主要幹線道路です。

その一部の区間となる横手北道路（横手市石町～美郷町榊柳間）の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聞きするアンケート調査及びヒアリング調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケート調査について

〇調査期間：令和4年1月25日（火）～令和4年3月17日（木）

〇調査内容：沿線地域住民や道路利用者等を対象に、国道13号（横手市石町～美郷町榊柳間）における道路計画を検討するにあたり、重視する項目について意見を把握するために実施します。

調査方法	実施方法	実施期間
インターネット（WEB）	湯沢河川国道事務所ホームページに掲載。 http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/	令和4年1月25日（火）～令和4年3月17日（木）
回答はがき	横手市横手地域（旧横手市）、大仙市大曲地域（旧大曲市）、美郷町にお住まいの方へ郵送配布。	令和4年2月18日（金）～3月17日（木）
	国道13号（横手市石町～美郷町榊柳間）を利用する事業者へ郵送配布。	令和4年2月18日（金）～3月17日（木）
	各自治体の公共施設等に調査票と回収ボックスを設置。（設置箇所は別紙による）	令和4年2月18日（金）～3月17日（木）

ヒアリング調査について

〇対 象 期 間 ：令和4年1月25日（火）～令和4年3月17日（木）

〇対　　象 ：国道13号（横手市石町～美郷町榊柳間）の沿線自治体、企業、団体等

〇調 査 内 容 ：国道13号（横手市石町～美郷町榊柳間）における道路計画を検討するにあたり、重視する項目について意見を把握するために実施します。
面接方式を基本としますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、対象者と調整のうえ、電話によるヒアリング調査の実施等、対策を図ったうえで実施します。

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田建設関係専門紙、大仙市地方紙

【お問い合わせ先】

国土交通省　東北地方整備局　湯沢河川国道事務所
TEL　0183-73-3174（代表）
副　　所　　長　　岡本　守（内線　205）
調査第二課長　　荒谷　義成（内線　451）

別　紙

●アンケート調査票・回答はがきの配布

①横手市横手地域（旧横手市）、大仙市大曲地域（旧大曲市）、美郷町にお住まいの方

配布方法：郵送にて配布いたします。

配布予定日：令和4年2月18日（金）～令和4年3月17日（木）

②　①以外の方

湯沢河川国道事務所、平鹿・仙北地域振興局、各市町村役場等の公共施設、道の駅等（表1）にアンケート調査票、回答はがき、回収ボックスを設置しております。また、インターネットによる回答も可能です。

③国道13号（横手市～大仙市間）を利用する事業者

配布方法：郵送にて配布いたします。

配布予定日：令和4年2月18日（金）～令和4年3月17日（木）

●アンケート回答方法

（1）インターネット（WEB）による回答

湯沢河川国道事務所、秋田県庁及び横手市、美郷町、大仙市のホームページにあるバナーからアクセスいただき回答していただくことが可能です。

パソコンまたは
スマートフォンから

「湯沢河川国道事務所」で検索し、右記バナーよりアクセスしてください。

湯沢河川国道事務所ホームページ URL
http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/

湯沢河川国道事務所　検索



スマートフォン等をお持ちの方は、右記QRコードから直接アクセスできます。

（QRコードの商標は、(株)デンソーウェーブの登録商標です）

（2）回答はがきによる回答

アンケート票に付随している回答はがきに回答を記入いただき、お近くの郵便ポスト、または下の表の回収ボックスへ投函ください。

表1【アンケート調査票・回収ボックス設置箇所】

	施　設
国土交通省	湯沢河川国道事務所
秋田県	平鹿地域振興局 仙北地域振興局
横手市	横手市役所本庁舎 秋田ふるさと村 横手市ふれあいセンターかまくら館 横手市交流センター Y2(わいわい)ぷらざ
美郷町	美郷町役場 美郷町役場　仙南出張所 美郷町役場　六郷出張所 美郷町総合体育館リリオス
大仙市	大仙市役所　大曲庁舎 大仙市役所　大曲南庁舎 大仙市大曲体育館
道の駅	美郷 十文字

【アンケート調査票・回収ボックス設置箇所位置図】

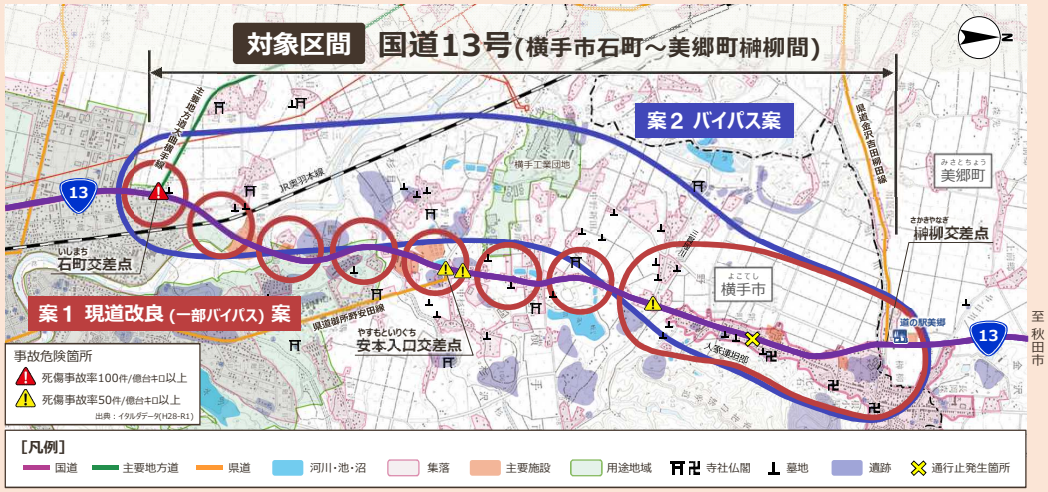


上記位置図以外では湯沢河川国道事務所（湯沢市）に設置しています。

対応方針（ルート帯）の考え方

案1　現道改良（一部バイパス）案
現道拡幅を基本とし、一部バイパスにより土砂災害警戒区域及び通行止め区間を回避し、現道の課題解消を図る案です。

案2　バイパス案
全線をバイパス整備し、現道の課題解消を図る案です。



比較項目			案1 現道改良(一部バイパス)案　約6km	案2 バイパス案　約6km
ルートの概要			現道拡幅を基本とし、一部バイパスにより土砂災害警戒区域及び通行止め区間を回避し、現道の課題解消を図る案	全線をバイパス整備し、現道の課題解消を図る案
設計速度			60km/h	60km/h
政策目標	快適かつ安全な交通環境の確保	渋滞緩和	・交通容量が確保され、渋滞緩和が図られる。	・バイパスへの交通転換により、渋滞緩和が図られる。
		通行環境改善	・必要な道路幅員が確保され、冬期の走行環境や安全安心な歩行環境が確保される。	・必要な道路幅員が確保され、冬期の走行環境は確保されるが、現国道13号の歩行環境は現状と変わらない。
		交通事故減少	・渋滞緩和による追突事故の減少や中央分離帯の設置により安全性が向上。	・渋滞緩和による追突事故の減少や中央分離帯の設置により安全性が向上。
	円滑な物流ルートの確保	物流経路の走行性、定時性の向上	・渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、走行性、定時性ともに向上。	・渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、走行性、定時性ともに向上。
	安定した救急搬送ルートの確保	救急搬送の安定性、速達性の向上	・渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、救急搬送の安定性、速達性ともに向上。	・渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、救急搬送の安定性、速達性ともに向上。
配慮すべき事項	沿線環境	現道沿線住民への影響	・沿線から本線へのアクセス性に優れる。	・沿線から本線へのアクセス性に劣る。
	生活環境	沿道家屋への影響	・人家連坦部を避けるものの、現道拡幅となるため、沿線家屋等への影響が大きい。	・バイパス整備により、沿線家屋等への影響が小さい。
	自然環境	地形・自然環境の改変	・地形改変が小さいため自然環境への影響が小さい。	・地形改変が大きいため自然環境への影響が大きい。
	経済性	整備に関する費用※	約190～230億円	約360～400億円

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合があります。

みなさまのご意見をお聞かせください！

国道13号 横手北道路（横手市石町（よこてしいしまち）～美郷町榊柳間（みさとちょうさかきやなぎ））道路計画に関するアンケート

全4問（約4分程度）

今回のアンケートと道路計画の流れ

- 地域や道路交通の現状と課題の整理
- 第1回アンケート
- 政策目標の設定 対応方針案の検討
- 今回 第2回アンケート
- 対応方針の決定





県南・中央地域を結ぶ国道13号 横手北道路（横手市石町～美郷町榊柳間）の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

▶ 詳しくは「東北地方整備局 湯沢河川国道事務所のHP」へアクセス願います。　湯沢河川国道事務所

▶ インターネットによる回答を行う場合は下記の QRコード か、「湯沢河川国道事務所」で検索し、右記のバナーからアクセスしてください。
（QRコードの商標は、(株)デンソーウェーブの登録商標です）

国道13号 横手北道路 ご意見募集中！ 道路計画に関するアンケートを実施中！

©2015 秋田県んだッチR03076

お問い合わせ　国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 調査第二課
TEL 0183-73-5559
FAX 0183-72-2488
（平日 9:00～17:00）

締め切り　令和4年3月17日（木）までにお願いします。

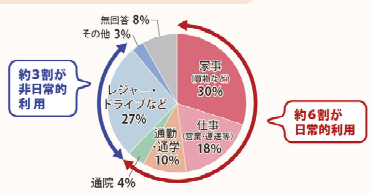
＼ たくさんのご回答ありがとうございました！ ／

第1回アンケート結果の概要

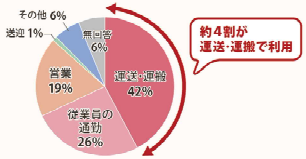
詳細はHPで紹介中
国道13号 横手北道路 ご意見募集中！
道路計画に関するアンケートを実施中！

対象区間の利用目的

住民・道路利用者 回答票数 14,120 票

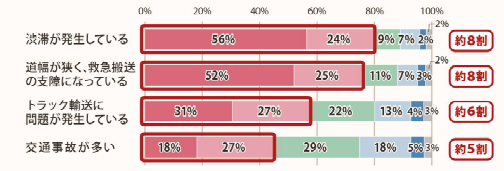


事業者 回答票数 97 票

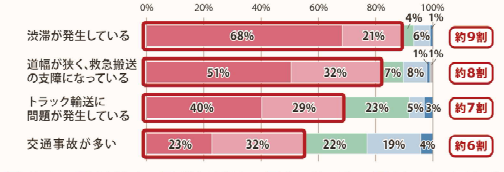


課題の認識 ［ 冬期（12月～3月） ］

住民・道路利用者 回答票数 14,120 票



事業者 回答票数 97 票



アンケート結果を踏まえた課題の再整理



1 交通環境

●横手地区の積雪深30cm以上の日数は、約80日となっています。（気象庁観測所・横手 H28-R3）
●堆雪により車両のすれ違いや歩道の歩行が困難との意見がありました。

▼堆雪時のすれ違い状況



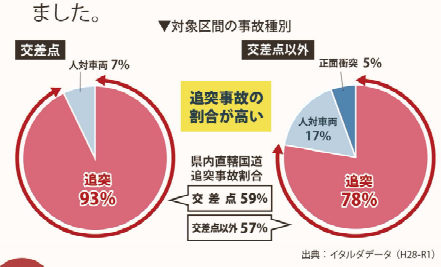
▼車道を通る歩行者の状況



2 事故

●対象区間では追突事故が多いとの意見がありました。

▼対象区間の事故種別

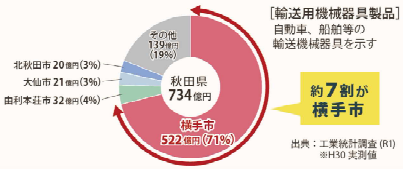


出典：イタルダデータ（H28-R1）

3 物流・産業

●秋田県の輸送用機械器具製品の製造品出荷額は、横手市が約7割を占めています。
●堆雪による速度低下によって、納品遅れ等が発生するとの意見がありました。

▼県内の輸送用機械器具製品の製造品出荷額の内訳



出典：工業統計調査（R1）
※H30 実測値

4 医療

●堆雪や渋滞により、救急車の追い越しが困難との意見がありました。

▼冬期の救急搬送状況



ご意見を踏まえて、ルート帯を検討する上で重視すべき事項について、以下の９項目を考えています。

政策目標

快適かつ安全な交通環境の確保

1. 渋滞緩和
2. 通行環境改善
3. 交通事故減少
4. 円滑な物流ルートの確保
5. 安定した救急搬送ルートの確保

配慮すべき事項

6. 沿線環境
7. 生活環境
8. 自然環境
9. 経済性

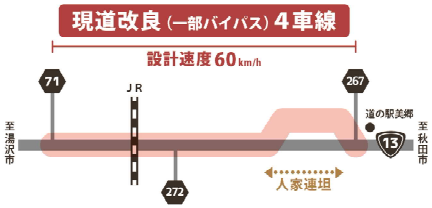


地域や道路の課題解消のため、2つの案を立案しました



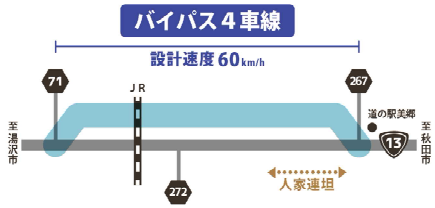
案1 現道改良（一部バイパス）案

現道拡幅を基本とし、一部バイパスにより土砂災害警戒区域及び通行止め区間を回避し、現道の課題解消を図る案



案2 バイパス案

全線をバイパス整備し、現道の課題解消を図る案



詳細は裏面をご覧ください≫